

Contents

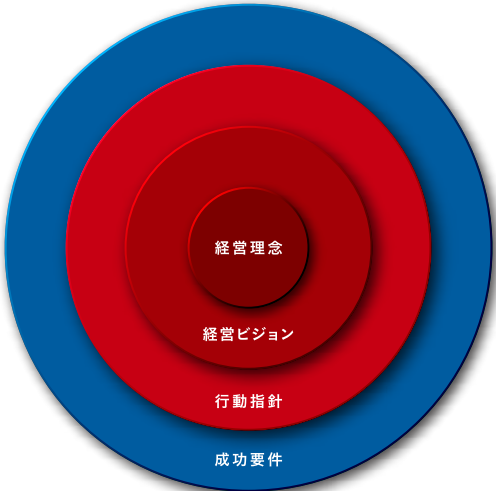
Who We Are	
Contents／編集方針	1
Management Philosophy & Brand	2
History	3
Our Business	5
ロジスティードグループの価値創造プロセス	11
ロジスティードグループの強み	13
Our Leadership	15
Our Strategies	
CEOメッセージ	17
CFOメッセージ	21
社外取締役メッセージ	25
中期経営計画「LOGISTEED2027」	27
ロジスティードグループのDX	31
人的資本への取り組み	33
知的資本への取り組み	37

Material Issues	
サステナビリティガバナンス	39
ロジスティードグループのマテリアリティとKPI	41
コーポレートガバナンス	47
コンプライアンス／情報セキュリティ	49
リスクマネジメント	50
環境マネジメント	53
環境中長期目標2030／2050	54
気候変動に対する取り組み	55
生物多様性・自然関連課題への取り組み	57
注力分野 1	59
注力分野 2	60
注力分野 3	61
注力分野を支える基盤	62
ESGデータ	63
財務データ Highlights	65
会社概要・主なグループ会社一覧	67
用語集	68

Management Philosophy & Brand

ロジスティードグループは、経営理念である「広く未来をみつめ 人と自然を大切にし 良質なサービスを通じて 豊かな社会づくりに貢献します」のもと、高度化・多様化・広範化しているグローバルサプライチェーンにおいて、お客様・投資家・従業員などあらゆるステークホルダーから、最も選ばれるソリューションプロバイダとなることを経営ビジョンとして掲げ、さまざまな『協創』を通じた課題の解決と『価値』の創出に取り組み、持続的な成長を実現していきます。また、経営理念、経営ビジョンの具現化に向け、当社グループのあり方と進むべき道を「LOGISTEED WAY」として体系化しています。

LOGISTEED WAY



経営理念

ロジスティードグループは 広く未来をみつめ
人と自然を大切にし 良質なサービスを通じて
豊かな社会づくりに貢献します

経営ビジョン

グローバルサプライチェーンにおいて最も選ばれる
ソリューションプロバイダ

行動指針

コンプライアンス
カスタマーフォーカス
イノベーション&エクセレンス
ダイバーシティ&インクルージョン
サステナビリティ

基本と正道を大切にしよう
お客様に価値を届けよう
革新と卓越性を協創しよう
多様性を活かし共に成長しよう
地球の未来を考え行動しよう

成功要件

「現場力」 × 「見える化」

3つの追求
3つのこだわり
3つの信条

安全・品質・生産性
細部・顕在化・スピードにこだわる
顧客志向・チームワーク・チャレンジ精神

財務情報

IR情報 (Webサイト)

● 有価証券報告書

● 決算説明資料

非財務情報

企業情報 (Webサイト)

● サステナビリティ

● 会社概要

統合報告書

編集方針
ロジスティードグループは、従来のアニュアルレポートに代わり、2020年度版より統合報告書を発行しています。当統合報告書は、投資家をはじめとするステークホルダーの皆様には「再上場を見据えた当社グループの企業価値最大化」について、「Our Strategies」と「Material Issues」をコアストーリーとして、価値創造プロセスやビジネスモデルを説明しながら、持続的な企業価値向上の取り組みを紹介しています。なお、編集にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」や経済産業省の「価値協創ガイダンス 2.0」を参考にしています。また、文中の会社名について株式会社等を省略しています。

報告対象期間
2025年度（原則として2025年4月～2026年3月）
ただし、活動に関しては、直近の活動も報告しています。なお、「年度」は3月31日に終了する会計年度をさしています。

報告対象組織
当統合報告書は、ロジスティードホールディングス(株)およびロジスティード(株)を含む当社グループ(連結子会社、持分法適用関連会社)を対象としています。なお、2026年4月1日付で、ロジスティードホールディングス(株)を主体とする経営体制へ移行しています。

将来見通しに関する注意事項
当統合報告書には、ロジスティードホールディングス(株)および当社グループの業績見通し、目標、計画ならびに経営戦略に関する将来の見通し、予想等が含まれています。これらの将来見通しに関する記述は今後の業績を保証するものではなく、さまざまなリスク、不確実性を含んでおり、今後の実際の決算や業績、到達度や財政状態は、これらが示唆するものと大きく異なる可能性があります。

ブランドプロミス

未知に挑む。

大きく変化する世界の中で、常に先を見つめて、道を切りひらき、社会に新しい活力を届けていきたい。

私たちは、お客様と真摯に向き合い、最善を尽くし、共に未来を協創する。これからのテクノロジーを新しいソリューションの力にする。一人ひとりの人間力を大切に、ひとつになって動きつづける。

私たちはこれまでのロジスティックスの領域を超えて、ビジネスと生活に新しい未来を実現していく。

ビジネスコンセプト

物流は新領域へ

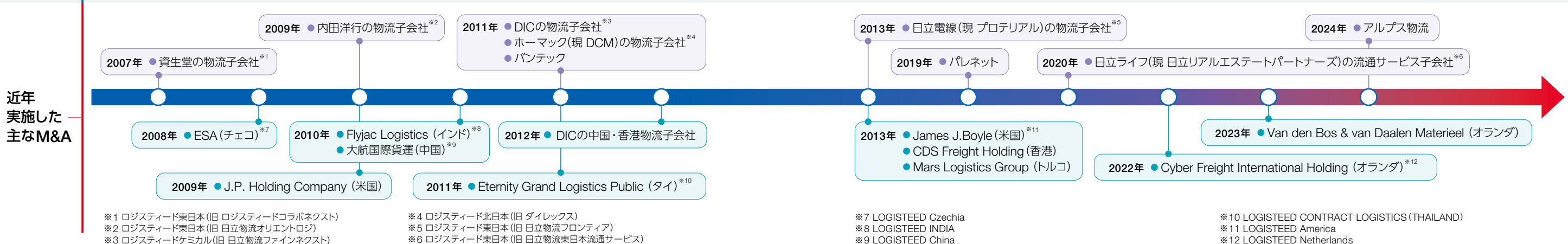
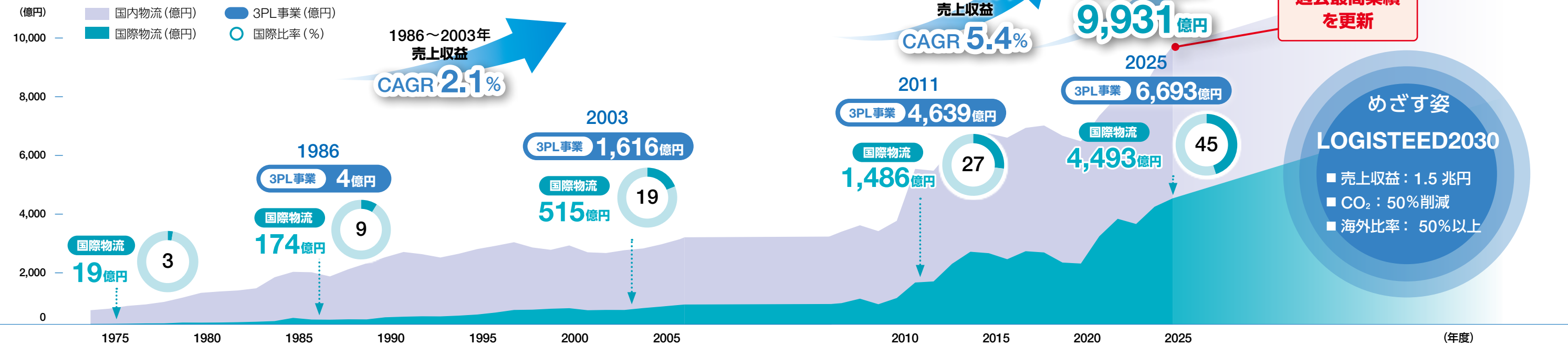
LOGISTEED

LOGISTICSと、Exceed、Proceed、Succeed、そしてSpeedを融合した言葉であり、ロジスティックスを超えてビジネスを新しい領域に導いていく意思が込められています。

History グローバル3PLリーディングカンパニーをめざしてー

歴史とともに、トップライン成長力を加速

売上収益の推移



Our Business グローバル3PLリーディングカンパニーへの変革に邁進中—

詳細はWebサイトをご参照ください 財務ハイライト <https://logisteed-holdings.com/jp/ir/financial/financialhighlights/>

ロジスティードグループは、3PL事業とフォワーディング事業を中核とする総合物流企業として、国内外に広がるネットワーク、先駆者ならではの豊富な実績とノウハウを駆使しながら、お客様の多様な物流ニーズにワンストップでお応えし、安全・品質・生産性に優れた物流サービスを社会に提供するとともに、グローバル3PLリーディングカンパニーをめざしています。

価値協創基盤 (2026年3月31日現在)

会社数^{※1}・事業拠点^{※2}

116社
1,020拠点

国内：27社・475拠点／海外：89社・545拠点

物流センター面積^{※2}

974万m²

国内：640万m²／海外：334万m²グループ人員^{※3}

56,240名

国内：34,708名／海外：21,532名

車両保有台数 (リース車含む)

合計 **23,613台**

トラック^{※4}：5,903台 フォークリフト：6,823台
トレーラ：8,424台 その他^{※5}：2,463台

2025年度 業績概況

売上収益

9,931億円

前年度比

9%増

調整後営業利益^{※6}

605億円

前年度比

25%増

契約維持率・顧客関係年数

契約維持率^{※7}

99.0%

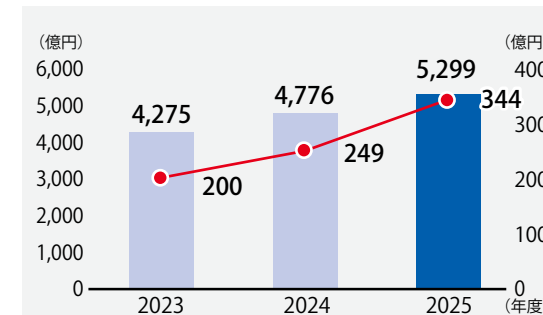
平均顧客関係年数^{※8}

35年

※1 会社数は、持分法適用関連会社を含む
 ※2 事業拠点・物流センター面積は、エアアイティーグループ、HTB-BCDトラベルグループを除く
 ※3 人員数は、持分法適用関連会社人員を除く
 ※4 トラック：トラクタ・バンを含む
 ※5 その他：バス・乗用車等を含む
 ※6 「調整後営業利益」は、営業利益からその他の収益を減算し、その他の費用、企業結合により識別した無形資産の償却費および株式報酬費用（業績連動型株式報酬制度に係るものを除く）を加算して算出
 ※7 2026年3月期における（全社売上収益－失注・撤退影響額）÷全社売上収益にて算出
 ※8 2026年3月期における売上上位60社の顧客について、契約開始から2026年までの平均年数に基づく

2025年度 セグメント別概況&事業概要

国内物流



売上収益

➡ 前年度比 **+11%**

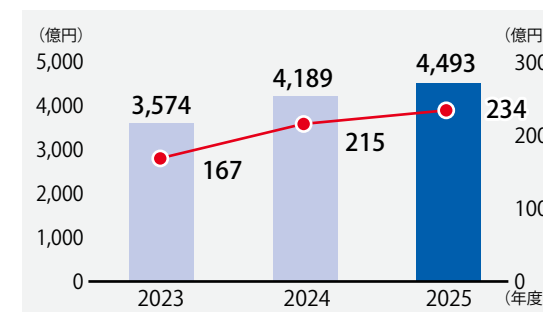
国内物流の売上収益は、受託領域拡大や新規受注案件の寄与等に加えて、2024年10月11日付でのアルプス物流の連結化により、前年度に比べ11%増加し、5,299億46百万円となりました。

セグメント利益

➡ 前年度比 **+38%**

セグメント利益は、増収影響や収益性の改善等により、前年度に比べ38%増加し、343億52百万円となりました。

国際物流



売上収益

➡ 前年度比 **+7%**

国際物流の売上収益は、新規受注案件の寄与や為替影響等に加えて、2024年10月11日付でのアルプス物流の連結化により、前年度に比べ7%増加し、4,493億47百万円となりました。

セグメント利益

➡ 前年度比 **+9%**

セグメント利益は、増収影響や為替影響等により、前年度に比べ9%増加し、234億12百万円となりました。

3PL事業

セグメント：国内物流・国際物流

調達物流／生産物流／販売物流／静脈物流



フォワーディング事業

セグメント：国際物流

国際航空輸送／国際海上輸送／国際トラック輸送／国際鉄道輸送



ソリューション・その他の事業

セグメント：国内物流・国際物流

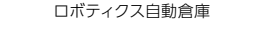
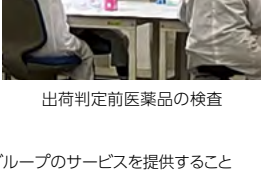
ソリューション（包装設計・情報通信機器・危険物等）／デジタル・ロジスティクス・ソリューション／重量機工・移転（プラント／機械・機器設備／鉄道輸送等）



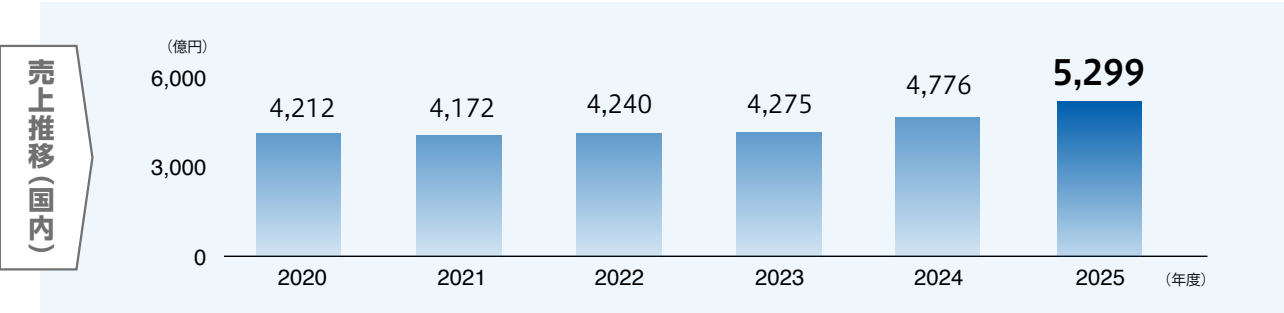
Our Business グローバル3PLリーディングカンパニーへの変革に邁進中

3PL事業 国内首位の事業基盤を活かし、グローバル成長を加速

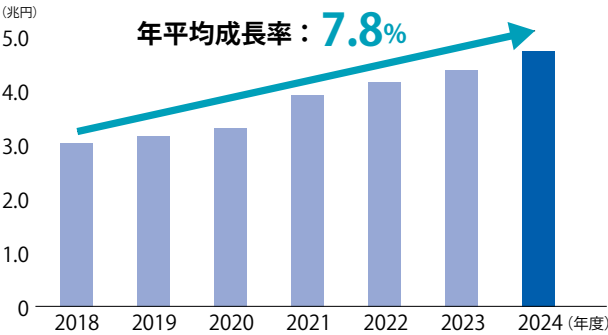
サービス内容と提供価値 ー長年培ったノウハウとIT活用によるサプライチェーンの最適化

調達物流	仕入れ品の引き取りから検収・保管・供給までを一貫して行います。ベンダー在庫管理方式 (VMI) や部品の組立・塗装・生産ラインへの供給など、高付加価値なサービスを提供しています。	
生産物流	資材や製品の管理・包装・発送など、製造工程におけるさまざまな物流業務を展開しています。門前倉庫運営による、ジャストインタイム (JIT) 供給への対応や多品種・少量・高頻度といった複雑な納入形態にも対応し、物流品質の向上と効率化を広くサポートしています。	
販売物流	お客様の販売計画に合わせた拠点配置や在庫の最適化など、サプライチェーンの設計段階から包括的にサポートします。自動倉庫や省人化設備等、最新技術を駆使した効率的なサプライチェーンを設計、運営し、お客様の受注・販売拡大を支援しています。	
静脈物流	顧客満足度を高める円滑な返品サービス、リユースやリサイクルをめざした回収サービス、高度な専門知識と技術を要する廃棄物処理サービスなど、お客様に最適なサービスを提供します。調達・生産・販売・回収 (リユース/リサイクル/廃棄) を一貫して担い、循環型社会の実現に取り組んでいます。	
VAS*	各バリューチェーンにおいて、従来の物流領域を超えた付加価値を提供しています。受注代行や名入れ・ラッピングといったギフト対応、化粧品・医薬部外品製造業対応など、多様なサービスを展開しています。お客様のニーズをくみ取り、トータルコスト削減やコア業務への集中を実現していきます。	

※Value Added Serviceの略。付加価値サービスのことを表し、調達・生産・出荷・販売・サービスの顧客バリューチェーンにおける物流周辺業務に当社グループのサービスを提供すること

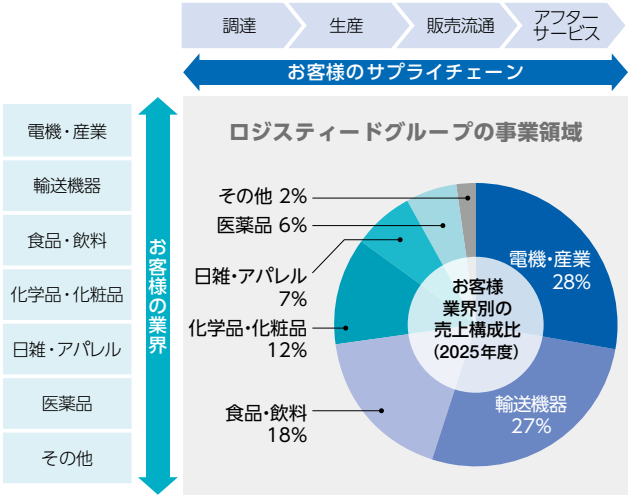


国内3PL市場規模推移



※「月刊ロジスティクス・ビジネス」2025年9月号より引用し当社作成

当社グループは、2024年度国内3PL
売上高ランキング1位



※海外含むロジスティードグループ売上上位80社の顧客データより作成

2025年度のトピックス

米国： 物流センター 開設	シカゴにおいて、今後の米国における自動車産業をはじめとした需要拡大に対応するため、物流センターを開設しました。今後は省人化設備の導入も検討し、お客様のサプライチェーン支援および事業拡大に貢献していきます。
兵庫： 物流センター 開設	兵庫県神戸市に製造小売業様向けの物流センターを開設しました。お客様のご要望に沿った最適な設備を設計/導入し、在庫の適正化や外部倉庫の集約によるコスト削減等を実現しています。
京都： 物流センター 開設	お客様の拠点再編に伴い、京都府久世郡に小売業様向け物流センターを開設しました。GTP*等の省人化設備の導入により、高い生産性と保管効率を実現しています。 ※Goods to Personの略。商品がコンベヤや搬送ロボットによって作業者のもとへ運ばれるピッキングシステムの総称
自動倉庫 導入	神奈川県横浜市、埼玉県加須市において電子部品関連事業者様向けに小型部品・商品管理に特化した自動倉庫を導入しました。誤出荷リスクの低減・保管効率の向上・作業の標準化を実現しています。人員不足への対応のため、省人化や業務効率化を推進していきます。
LIB-CON 開発	リチウムイオンバッテリー (LIB) の安全かつ効率的な保管を目的としたコンテナであるLIB-CONを開発しました。LIB-CONの使用により、従来危険物倉庫が必要だったLIBの保管が一般倉庫でも安全に行うことが可能となり、危険物倉庫の供給不足の解消や保管コストの低減に貢献します。
遠隔 フォークリフト 操作システム 実証実験	ロジスティードを含む4社で遠隔フォークリフト操作システムの機能・性能、事業性等を評価・検証しています。遠隔地に設置した操作卓から、カメラ映像、センサ情報等を認識しながら、フォークリフトを遠隔操作することで、実質的な無人作業化を可能とし、人員不足の解消、作業環境改善、安全性向上等を図ります。



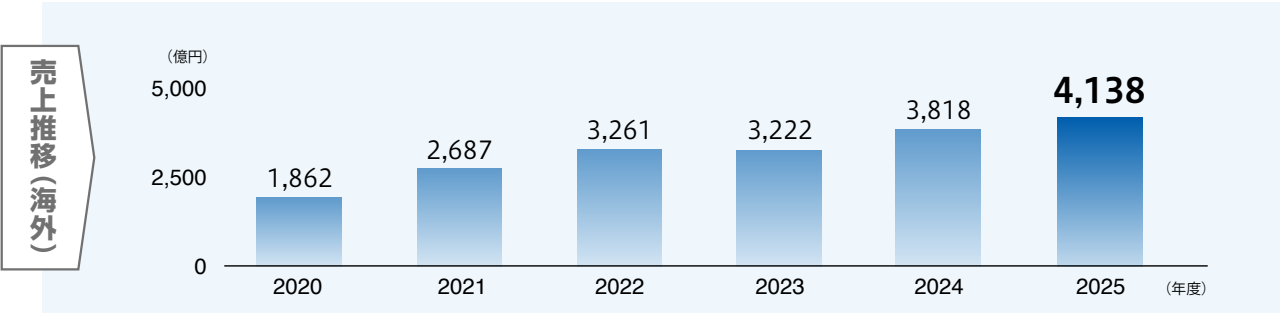
米国：エルクグローブ倉庫



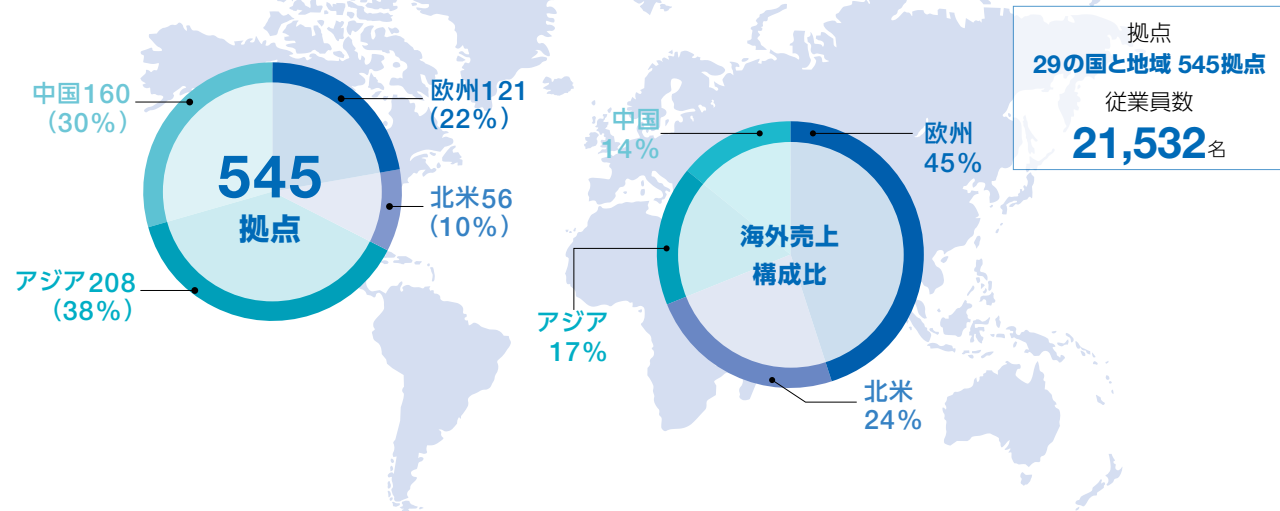
LIB-CON



遠隔フォークリフト評価検証機



海外地域別売上構成比・拠点数 (2025年度)

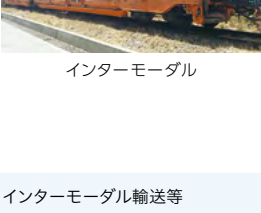
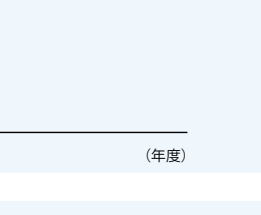


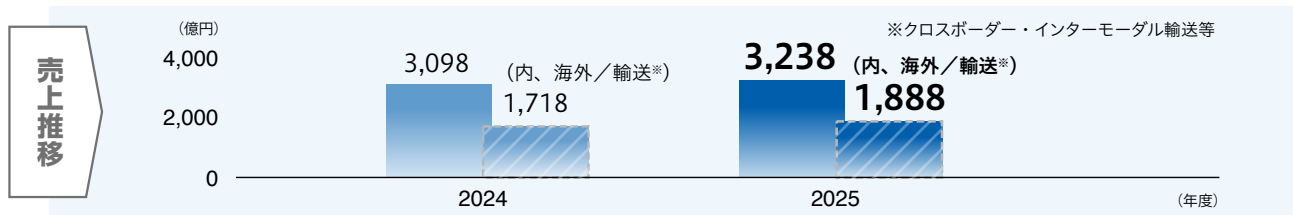
フォワーディング事業

グローバル展開の加速と効率化の追求による収益力強化

サービス内容と提供価値

―世界各地のネットワークとアセット・ライト戦略

航空輸送	緊急輸送からコストを抑えた柔軟なスケジューリングまで、お客様のニーズに応じて最適な航空輸送サービスを提供しています。輸送中の貨物の損傷や紛失リスクを軽減するため、積載効率を最適化し、安全性を確保する包装ソリューションもご提案します。	
海上輸送	FCL (Full Container Load)、LCL (Less than Container Load)をはじめ、パイヤーズ・コンソリデーション(BCN)や貨物管理サービス(FMS)など、さまざまなサービスを提供しています。特殊コンテナや大型貨物にも対応し、多様なニーズに応じた円滑かつ迅速、効率的な輸送を実現しています。	
クロスボーダー	国境が隣接する地域でスムーズな国際陸上輸送を実現する「クロスボーダー」。ロジスティクスグループのネットワークを活かし、自社トラックと提携パートナーのサービス網を組み合わせ、米国・メキシコ、ASEAN、東欧各国間で高品質な輸送を提供しています。	
インターモダル	航空・海上・トラック・鉄道などの異なる輸送モードを組み合わせる「インターモダル」により、効率的で環境に優しい輸送を提供しています。海上と航空、あるいは鉄道といった複数の輸送モードを組み合わせることで、スピードとコストのバランスを最適化します。	

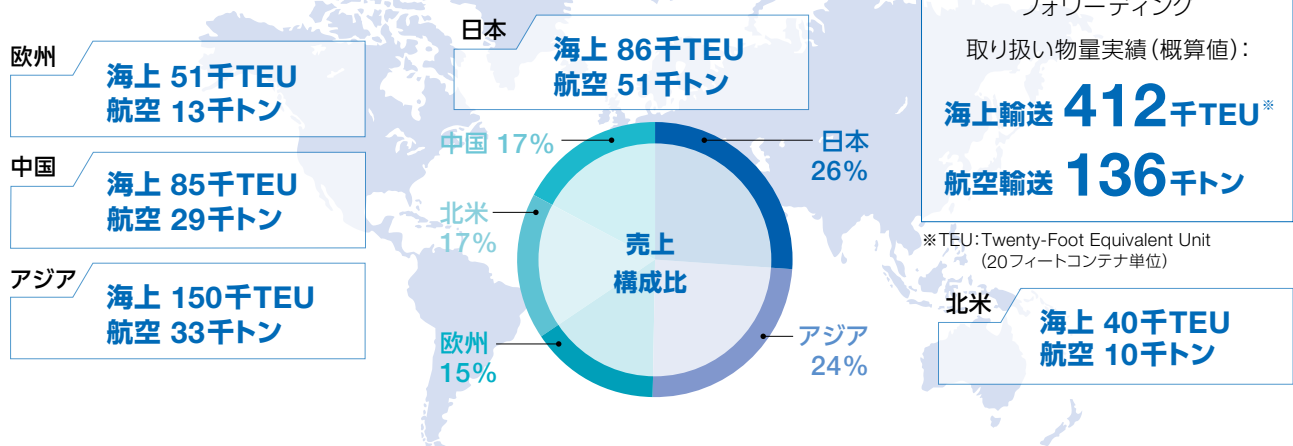


2025年度のトピックス

― One LOGISTEEDによるグループシナジーの創出

- フォワーディング事業戦略本部の新体制始動**
2025年度よりフォワーディング事業戦略本部・フォワーディング営業開発本部の体制を見直し、従来の2部門から5部門へ拡充しました。事業計画・営業・RFQ・プラント・ITの役割を明確化し、グローバルフォワーディング事業の強化に向け、各部門が連携した組織運営を進めています。
- 輸送サービス強化と品質向上に向けた体制整備**
海上輸送・航空輸送・通関業務を含むフォワーディング事業全体の輸送サービス(プロダクト化)の強化に向け、各輸送モードにおけるプロダクト(輸送商品)化の整備を進めています。これにより、輸送力の強化と競争力の向上を図るとともに、付加価値の高いサービス提供を推進します。
- オペレーション基盤の統一を開始**
グローバルベースでの業務標準化と可視化を推進するため、オペレーション基盤の全世界統一を2025年度より進めています。迅速かつ一貫性のある安定したサービス提供を実現するとともに、全世界共通KPIに基づく管理の強化を通じて競争力強化・高いレベルでのサービスの平準化につなげ、お客様にとって信頼されるフォワーダーであり続けることをめざしています。

地域別売上構成比・取り扱い物量(2025年度)



詳細はWebサイトをご参照ください

SSCV <https://www.logisteed.com/jp/sscv/>

レコビス <https://www.logisteed.com/jp/recovise/>

スマートウエアハウス <https://www.logisteed.com/jp/swh/>

SCDOS <https://www.logisteed.com/jp/scdos/>

ソリューション・その他の事業

ソリューション

包装ソリューション (包装設計サービス)	長年磨き上げてきた独自の豊富なノウハウと、テクニカルセンタにおける研究開発により、包装設計や作業、資材調達に至るまで、包装に関するさまざまなお客様のニーズに、定量的な蓄積データおよび評価試験に基づいた最適な包装ソリューションを提案します。	
情報通信機器ソリューション	3PLのノウハウと物流会社ならではの機動力を活かし、情報通信機器に関するお客様のお困りごとをスピーディに解決します。情報通信機器の導入から運用、資源循環、廃棄までのライフサイクルをトータルでサポートする、ワンストップのソリューションです。	
危険物ソリューション	危険物・化学品物流に関する豊富な実績と高度なノウハウを有するロジスティクスグループの総合力と輸送ネットワークをフル活用して、危険物特有の要件やお客様の納品計画に確実にお応えし、物流コスト圧縮、サービス品質の向上、環境にやさしい物流を危険物・化学品の分野でも実現します。	

デジタル・ロジスティクス・ソリューション

協創パートナーとの連携と、情報技術の駆使により生み出された、ロジスティクス独自の新しいサービス

			
スマートウエアハウス ECプラットフォーム	SCDOS サプライチェーン最適化サービス	SSCV 輸送デジタルプラットフォーム	レコビス 個品管理サービス

2025年度のトピックス

- SSCV-Safetyに実装した「SSCV自動点呼」の機能が国土交通省の業務前自動点呼機器、業務後自動点呼機器として認定されました。
- ロボット荷役の導入促進に向けた段ボールケースの強度評価に関する実証実験を開始しました。
- SSCV-Safetyで事故リスクを検知し事前にアラートで事故予防を支える生体データ解析技術で特許取得しました。
- 2025日本パッケージングコンテストで当社グループ開発の「上腕式点呼デモセット リユース梱包箱」が包装技術賞の「ロジスティクス賞」を受賞しました。
- 全日本物流改善事例大会2025の物流管理部門でSSCV-Safetyを活用した取り組み事例を発表し、最高位の最優秀物流改善賞を受賞しました。
- SCDOSのCO₂排出量可視化ソリューションであるEcoLogiPortal (P68) がSAPのサステナビリティ管理ソリューションと連携を開始しました。

重量機工・移転

電力プラント

火力・風力など各種発電所や変電所向けの大型機器(タービン、変圧器など)の輸送ニーズにお応えします。プラントの設置場所が内陸部や沿岸部など複雑な条件下にある場合でも、長年の実績と高度な輸送計画力を活かし、安全かつ高品質な輸送と現地での搬入・据付を実現します。

産業プラント

圧延機、集塵装置等の大型プラント設備やタンク類、コンベヤ、エレベータ・エスカレータなどの建設関連設備を取り扱っています。綿密な輸送計画と作業計画、そして特殊貨物に関する高度な専門技術で、お客様の現場まで安全に納入・設置します。

交通インフラ

新幹線やその他高速鉄道、近郊電車、モノレールなどの車両本体だけでなく、駅ホーム柵などの関連機器類や各種保守パーツの輸送・据付など、交通インフラにおける多種多様な物流ニーズに、豊富な実績と特殊なノウハウ、そして国内外に広がるネットワークでお応えします。

輸送据付

多種多様な機械設備の搬出から、輸送、搬入、据付に至るまで、豊富な実績に裏打ちされた高度な技術力と専門性を有します。梱包作業からフォワーディング、保管といった物流業務に関わる一連の作業を包括的にワンストップでお任せいただけます。



台湾向け鉄道車両輸送

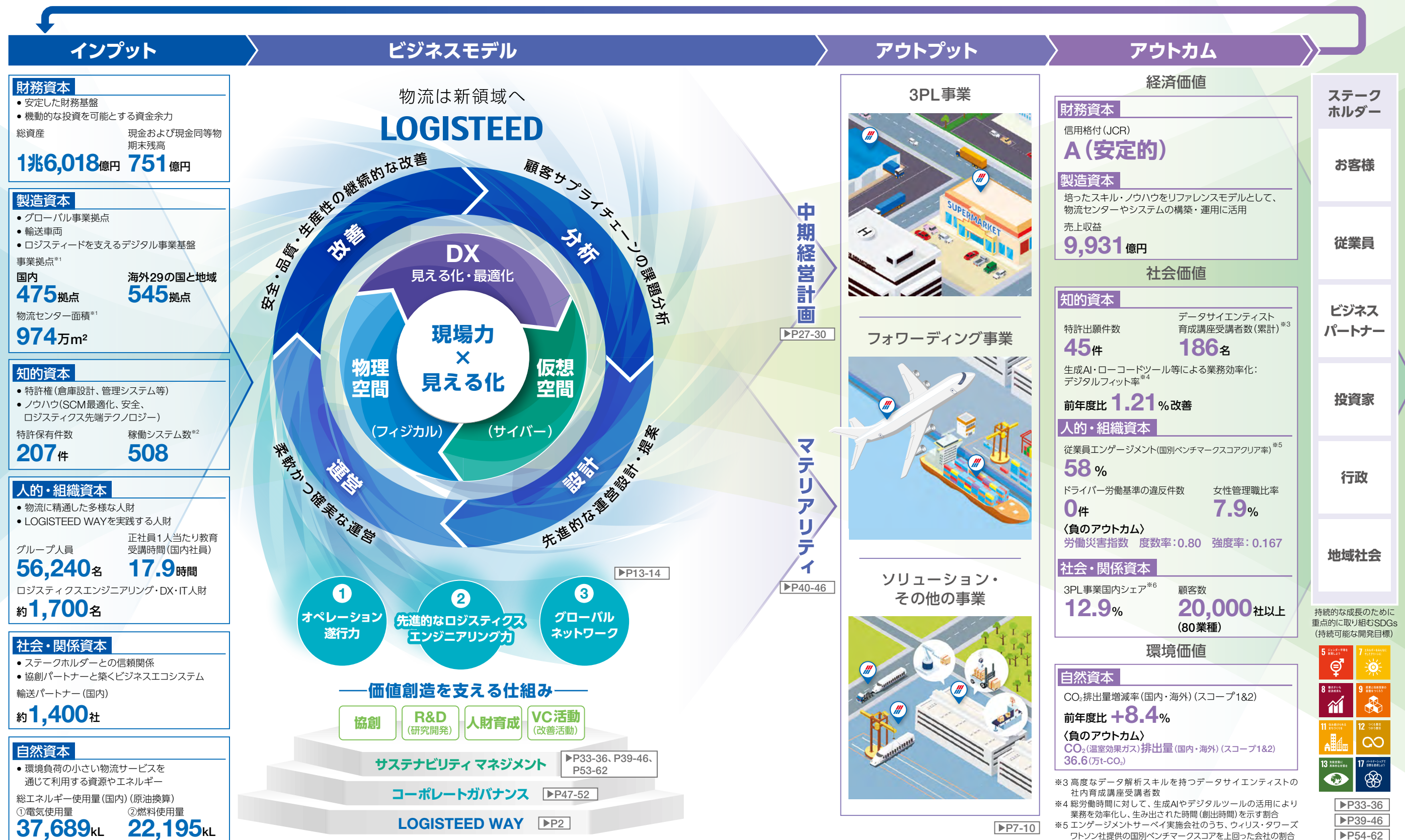


乾溜ガス化燃焼プラント設備据付

ロジスティードグループの価値創造プロセス

ロジスティードグループの価値創造を実現するビジネスモデルは、グループのあり方と進むべき道を示したLOGISTEED WAYを全ての価値の源泉とし、お客様のサプライチェーンの課題分析、運営設計、運営、改善というバリューチェーンとそれを支える仕組みである協創、R&D、人材育成、VC活動から成り立っています。

強みである「オペレーション遂行力」「先進的なロジスティクスエンジニアリング力」「グローバルネットワーク」をドライバーにバリューチェーンをより強固なものとし、マテリアリティと中期経営計画のもとでステークホルダーに経済価値、社会価値、環境価値を持続的に提供することで、グローバル3PLリーディングカンパニーの実現をめざします。また、持続的な企業価値向上を通してSDGsにも貢献していきます。



持続的な企業価値向上

ロジスティードグループの強み

ロジスティードグループの3つの強みは、「オペレーション遂行力」「先進的なロジスティクスエンジニアリング力」「グローバルネットワーク」です。物流事業会社として創業以来70年余培ってきたノウハウやネットワークを源泉に、安全・品質・生産性に優れた総合物流サービスを社会に提供しています。

詳細はWebサイトをご参照ください▶

SCDOS <https://www.logisteed.com/jp/scdos/>SSCV <https://www.logisteed.com/jp/sscv/>スマートウエアハウス <https://www.logisteed.com/jp/swh/>RCS <https://www.logisteed.com/jp/service/solution/consultant/>ONEsLOGI <https://sol.logisteed.com/solution/wms/>AutonMate <https://sol.logisteed.com/solution/autonmate/>

財務成長率

【2020年度～2025年度のCAGR（年平均成長率）】

売上
収益 **8.8%**調整後
営業利益 **10.5%**

荷主満足度調査（2024年度）

3PL/倉庫部門

国内 **1位**
★★★★★ **4.1**

フォワーディング部門

国内 **1位**
★★★★★ **3.8**

出典：「月刊ロジスティクス・ビジネス」2024年6月号

1 オペレーション
遂行力

製造資本



人的・組織資本



社会・関係資本

物流に精通した
多様な人材

グループ人員

56,240名社会と人々の暮らしを支える
輸送アセット

車両保有台数（リース車含む）

23,613台ロジスティードを支える
デジタル事業基盤

自社開発稼働システム数

508

(数値は2026年3月31日現在)

2 先進的なロジスティクス
エンジニアリング力ロジスティクスエンジニアリング・
DX・IT人材

データ分析、作業運営設計、自動化推進、先端技術

約**1,700名**

SSCVの開発・導入



SSCV-Safetyのグループ内導入数

約**2,400台**

製造資本



知的資本



人的・組織資本

AGV^{*}、AMR（▶P68）等
自動化設備の導入

グループ内導入数

約**1,000台**

※ AGV: Automated Guided Vehicle (無人搬送車)

3 グローバル
ネットワーク

製造資本

グローバルサプライチェーンを支える事業拠点



拠点

30の国と地域
1,020拠点

物流センター

計**974万m²**

バリューチェーン

分析

顧客サプライチェーンの課題分析

お客様とコミュニケーションを取りながら、データやヒアリングをもとに、サプライチェーン上の課題を分析

- 3PLリーディングカンパニーとして培ってきた、物流業務の豊富な実運営経験に裏打ちされたリアルな分析と課題の抽出
- 各業界に精通した営業担当とロジスティクスエンジニアの綿密な連携
- お客様との対話による要望の的確な把握
- 「SCDOS」を活用したサプライチェーン上の情報の一元管理・可視化・分析・シミュレーションによる、お客様のサプライチェーン改革の支援
- データ分析の専門家を育成する独自の教育プログラム

関連するソリューション、ツール等

- SCDOS（サプライチェーン最適化サービス）▶P31-32
- データ分析の専門家の育成



設計

先進的な運営設計・提案

分析結果から最適な拠点配置、配送ルート、輸送方法、庫内運営方法を設計し、お客様へ提案

- 拠点配置最適化、物流センター計画、倉庫内設計、庫内運営業務フローを構築するためのノウハウと社内体制
- さまざまな業種に対応する高機能WMS（倉庫管理システム）の設計、開発
- 先進技術の導入により物流の高度化と自動化・省力化に戦略的に取り組み、持続可能な物流を設計
- 自動化・省力化のノウハウとデジタル技術を組み合わせたスマートウエアハウスの設計、提供
- 最新テクノロジーを活用した、社会インフラに関わるプラント貨物や機械設備などの重量物の搬出、輸送、搬入、据付までの一貫作業の設計

関連するソリューション、ツール等

- ECプラットフォーム（スマートウエアハウス）
 - SLC^{*}（倉庫設計支援ツール）
 - AutonMate（自律走行搬送ロボット）
 - ONEsLOGI
- ※ SLC: Smart Logistics Configurator



運営

柔軟かつ確実な運営

綿密に設計した業務フローに基づき、安全・品質・生産性を厳しく管理しながらオペレーションを遂行

- グローバルサプライチェーンを支える国内外1,020の事業拠点
- お客様の販売チャネルや環境の変化に柔軟かつスピーディに対応可能な運営体制
- お客様および協力会社との良好で強固な関係
- KPIによる収益性、安全・品質・生産性の厳密な管理とその向上に向けた取り組みの実施
- 包装や輸送治具に関する技術を用いた輸送品質の向上や環境負荷低減の取り組み
- IoTテクノロジーを駆使した「SSCV」による安全確保、法令遵守、業務効率化

関連するソリューション、ツール等

- SSCV（輸送デジタルプラットフォーム）▶P31-32
- RCS（リソースコントロールシステム）▶P31-32
- AutonMate（自律走行搬送ロボット）
- ONEsLOGI



改善

安全・品質・生産性の継続的な改善

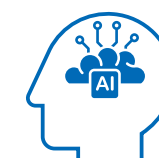
お客様からのフィードバックや従業員の声を取り入れた改善活動により、組織全体の生産性と品質を向上

- グループ全体での「VC活動」（▶P68）による、改善活動の進捗や好事例などの見える化および改善文化の浸透
- ロジスティクスエンジニアリング力とデジタル事業基盤を駆使した、輸送ルート、庫内レイアウト、倉庫内作業プロセスの継続的な改善
- 各種改善教育の実施と各職場での実践
- RPA、AI-OCR^{*}、生成AIなどのデジタルツールを駆使した組織横断型生産性改革の実施
- IoTテクノロジーを駆使した「SSCV-Safety」によるドライバーの技能向上指導の実施

関連するソリューション、ツール等

- 作業分析支援ツール
- RPA、AI-OCR
- SSCV（輸送デジタルプラットフォーム）

※ AI-OCR: AI（人工知能）を搭載したOCR（Optical Character Reader / 光学的文字認識）



Our Leadership ー役員紹介&執行体制ー

詳細はWebサイトをご参照ください [ログスティードホールディングス 役員紹介](#) <https://logisteed-holdings.com/jp/profile/directors/>
<https://www.logisteed.com/jp/profile/directors/>

ログスティードホールディングス 取締役



代表取締役 中谷 康夫



社外取締役 浦野 光人



社外取締役 デトレフ
トレフガー



社外取締役 行木 司

日本郵便(株)
常務執行役員



社外取締役 平野 博文

(株)KKRジャパン
代表取締役社長 パートナー



社外取締役 谷田川 英治

(株)KKRジャパン パートナー



社外取締役 渡部 武

(株)日立製作所 経営戦略統括本部
経営戦略本部 事業開発室長



社外取締役
(監査等委員) 青木 美保



社外取締役
(監査等委員) 宮内 秀聡

(株)KKRジャパン ディレクター



取締役
(監査等委員) 生田目 亮^{*9}

〈略称について〉

C E O : Chief Executive Officer
C I B O : Chief International Business Officer
C J B O : Chief Japan Business Officer
C T R O : Chief Transformation Officer
C M O : Chief Marketing Officer
C H R O : Chief Human Resources Officer
C S O : Chief Strategy Officer
C P O : Chief Procurement Officer
C F O : Chief Financial Officer
C D X O : Chief Digital Transformation Officer
C I O : Chief Information Officer
C T O : Chief Technology Officer

ログスティード 執行役員



会長兼社長執行役員
(CEO) 中谷 康夫^{*1}^{*7}



副社長執行役員
(CIBO) クリストファー
ローガン^{*2}^{*8}

ログスティードインターナショナル
カンパニー社長



副社長執行役員
(CJBO) 西川 和宏^{*2}^{*8}

ログスティードジャパンカンパニー社長



副社長執行役員
(CTRO) 林 伸和^{*2}^{*8}

コーポレート担当



執行役員
(Deputy CIBO) 阿部 和雄

海外事業統括本部長



執行役員
(CMO) 川北 剛史



執行役員
(CHRO) 工藤 司^{*3}

人事総務本部長
AEO^{*10}・輸出管理本部長
監査室担当



執行役員
(CSO 兼 CPO) 高岡 勲^{*4}

経営戦略本部長



執行役員
(CFO) 中本 英夫^{*5}

財務戦略本部長



執行役員
(CDXO) 芳賀 寛

ロジスティクスDXソリューション統括本部長
ログスティードソリューションズ(株)
代表取締役 社長執行役員

^{*1} 当社の社長執行役員(CEO)を兼務
^{*2} 当社の副社長執行役員を兼務
^{*3} 当社の執行役員(CHRO)を兼務
^{*4} 当社の執行役員(CSO兼CPO)を兼務
^{*5} 当社の執行役員(CFO)を兼務
^{*6} 当社の業務執行役員を兼務
^{*7} ログスティードの代表取締役を兼務
^{*8} ログスティードの取締役を兼務
^{*9} ログスティードの監査役を兼務
^{*10} AEO (Authorized Economic Operator) 制度: セキュリティ
管理と法令遵守の体制が整備された事業者を税関が認定し、
税関手続の簡素化等のベネフィットを与える制度

ログスティード 業務執行役員

アキール ナイル	業務執行役員 フォワーディング事業戦略本部長 International Head of Freight Forwarding	岩田 直之	業務執行役員 国内事業統括本部 担当本部長
梓澤 和則	業務執行役員 (CIO) ロジスティクスDXソリューション統括本部 IT基盤本部長 情報セキュリティ本部長	岡本 良一	業務執行役員 安全品質管理本部長
伊藤 浩史	業務執行役員 グローバル営業開発本部長	小川 健一郎 ^{*6}	業務執行役員 経営戦略本部 副本部長
伊与久 賢一	業務執行役員 国内事業統括本部 担当本部長	黒梅 裕一	業務執行役員 ログスティードインターナショナルカンパニー 担当本部長 LOGISTEED China, Ltd. 社長
		材木 和彦	業務執行役員 営業開発本部長

坂口 和久	業務執行役員 国内事業統括本部 担当本部長
櫻田 崇治	業務執行役員 (CTO) エンジニアリングイノベーション本部長
曾我 晴志	業務執行役員 国内事業統括本部 担当本部長
寺井 義彦	業務執行役員 国内事業統括本部 担当本部長 ログスティード東日本(株) 代表取締役社長
寺崎 秀昭	業務執行役員 (株)アルプス物流 代表取締役 社長執行役員

永野 光鹿	業務執行役員 (Deputy CJBO) 国内事業統括本部長 ログスティード西日本(株) 代表取締役社長
名取 一茂	業務執行役員 フォワーディング営業開発本部長 ログスティードエクスプレス(株) 代表取締役社長
藤原 和弘	業務執行役員 財務戦略本部 副本部長 経営戦略本部 担当本部長

※役職ごとに五十音順で記載
(2026年6月26日現在)